

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までで2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に直し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		児童の特性に応じた視覚支援や年齢発達に応じた物の配置・動線作りにも、定期的に見直しをおこなっています。構造的に段差は少なく、概ねバリアフリーになっております。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		営業時間開始前に清掃・消毒を毎日実施しています。換気は一日を通して実施しております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別対応が必要な場合は、相談室を使用するなどの対策をおこなっております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		定期的に会議をおこない、日々の振り返りや業務改善についても話し合い共通理解に努めております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年アンケートを配付し、ご意見やご意向を把握することにより、改善につなげております。今後も公式 Web サイトで公開してまいります。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に会議をおこない、日々の振り返りや業務改善についても話し合い共通理解に努めております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		第三者評価をおこない、日々業務改善に努めております。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		内部研修は定期的におこなっており、動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めております。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムについては現在見直し・整備を進めており、令和8年度に向けて作成・公表できるよう準備を進めております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		より良い支援のためにアセスメントを適切におこない、しっかりと保護者様から情報を聞き取り、記録し、支援計画作成に活かしております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援ガイドラインを踏まえ、児童発達支援管理責任者を中心に、こどもの支援に関わる職員と共通理解を図りながら、こどもの最善の利益を考慮した支援計画を作成しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		一人ひとりの支援計画内容は、全職員に周知・共有し個々の計画に沿った支援を提供しております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントツールを使用するとともに、日々の行動観察も踏まえながら、保護者様のご意見・ご要望・児童の状況を漏れなく把握できるよう努めております。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援ガイドラインを踏まえたうえで、保護者様のご意向を取り入れ、個々に合った支援計画を作成しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		季節に合ったものを取り入れたり、運動・言語療育のプログラムを定期的に取り入れ、職員間で話し合い、立案しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		児童の状況に合わせて、個別療育の他、イベントや製作・集団活動も取り入れ、活動が固定化しないよう工夫しております。また、利用頻度が少ない児童に関しては、イベント等に参加できるように日程を調整しております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別の活動を主軸に置いているが、運動・言語療育などを定期的に取り入れ、集団活動への参加を促す支援計画を作成しております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		その日の役割分担などについては職員間で確認しております。また児童の様子も情報共有をおこないながら、共通認識を図っております。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後の打ち合わせは翌日の朝に時間を設け、振り返りをおこなっております。勤務の関係で打ち合わせに参加できない場合は、連絡ノートを活用し、共通理解に努めております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々、支援経過の記録を徹底し、検証・改善につなげています。記録は、出来たことだけでなく、苦手なこと・課題なども記録するようにし、より良い支援につなげております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		少なくとも6カ月に1回はモニタリングを実施し、支援計画の見直しをおこなっております。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には、児童の状況に精通している児童発達支援管理責任者が参画しております。会議の内容は持ち帰り、職員間で共有しております。		
	関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて各関係機関と連携を図り、情報共有と相互理解に努めながら、より適切な支援につなげられるよう体制を整えております。	
26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		7		保護者様のご意向を確認したうえで各関係機関と情報共有・相互理解に努めております。		
27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		7		小学校などへの進学時には、保護者様のご意向を確認したうえで進学先の情報共有に努めております。		
28 (28～30は、センターのみ回答)						
28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		7				
29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		7				
30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		7				
31 (31は、事業所のみ回答)						
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受けられる機会を設けているか。		7			事業所を併用している児童については担当者会議で情報共有に努め、相談支援専門員を通して様子をお伝えしております。	
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7			令和7年度より保育所等訪問支援を開始しております。児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえ、必要に応じて交流の機会についても検討してまいります。	
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		7			送迎時やHUGでの連絡欄にて、児童の様子をお伝えし、発達状況や課題について共通理解に努めております。また、電話連絡や面談の場を設け、より密な情報共有に努めております。	
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	2		保護者様からの相談に対して児童の様子を見ながら、適切なアドバイスができるように努めております。また児童の発達段階から保護者様に提案やアドバイスもできるような努めてまいります。	家族支援を通して保護者様の悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをお伝えするように努めてまいります。また、ご家庭での協力が必要な場合にはご提案をさせていただきます。可能な範囲で取り組んでまいります。
35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		7			契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっております。また、ご不明な点がないか確認しながら進めております。	
36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		7			個別支援計画の作成前に、モニタリングを実施しております。定期的な保護者様との面談により、児童の状況や課題を確認し支援計画に反映しております。	
37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		7			児童発達支援計画の同意をいただく際には丁寧かつわかりやすい言葉で説明するよう心がけております。	
38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			お悩みのご相談があった場合は、その都度助言をおこなっております。また、いただいたご質問やその場での回答が難しい内容は一度持ち帰り、迅速な対応をおこなっております。		
39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			個人情報の関係もあり、保護者様の集まる機会が実現できませんが、ご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえて、必要に応じて交流会等の機会を検討してまいります。	
40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			日々の利用に関するご意見やご相談については、迅速に対応できるように配慮しております。苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。		
41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしており、「COMPASS だより」を季刊発行しています。また、事業所便りを毎月配付し、児童の日々の様子や行事の様子などを写真とともにわかりやすく掲載しております。		
42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			児童には状況や特性に合わせた伝達方法を用いております。		
44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			現時点では、地域の方をご招待するなどの交流は積極的に企画するまでに至っておりませんが、定期的な訓練も実施しております。	児童の現状や保護者様のご意見等を踏まえて、必要に応じて交流会等の機会を検討してまいります。	
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			各種マニュアルを策定するとともに、事業所に掲示して保護者様にのご案内をしております。また、定期的な訓練も実施しております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			業務継続計画(BCP)を策定しております。避難訓練は児童も参加し、年間を通して複数回実施しております。訓練の様子は事業所便り等を通してお伝えしております。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			会社で統一したアセスメントツールを使用して状況の把握に努めています。また、連絡帳や電話連絡を通して状況の変化を確認させていただいております。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			契約時にアレルギーの有無を確認し、該当児童については一覧を作成のうえ職員間で共有しております。必要に応じて医師の指示書に基づいた対応ができるよう体制を整えております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			安全計画を全職員が周知できるように、会社が作成した研修や訓練をおこない、万が一の際には安全計画に沿って行動できるよう努めてまいります。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			契約時や、昨今、災害が増えているため、定期的に保護者様に安全確保についてお話しするよう心がけております。また、事業所内に各種マニュアルや対策を掲示しております。	
	51 ヒヤリハット事例を事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7			ヒヤリハット事例を作成して、職員間に周知し再発防止に努めております。作成時には、今後の安心安全な事業運営に活かすため、状況の説明・対策を事細かに、かつ、わかりやすく記録するよう心がけております。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			事業所内で職員研修を実施し、虐待防止について周知に努めてまいります。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			身体拘束は原則としておこないません。生命または身体の保護のためにやむを得ず必要となる場合は、組織的に判断し、事前に十分な説明をおこない保護者様の承諾を得たうえで、児童発達支援計画に記載し対応できるよう努めてまいります。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。